

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アビックス株式会社  
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 熊崎 友久  
 (氏名) 桐原 威憲

TEL 045-670-7720

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	145	12.6	30		33		33	
26年3月期第1四半期	166	40.5	42		43		44	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.46	
26年3月期第1四半期	1.91	

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,340	411	30.7
26年3月期	1,400	445	31.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 411百万円 26年3月期 445百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		0.00	0.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	951	18.9	16		8		7		0.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	23,102,800 株	26年3月期	23,102,800 株
期末自己株式数	27年3月期1Q	株	26年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	23,102,800 株	26年3月期1Q	23,102,800 株

(注)平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株の割合で株式分割を行っております。株式数については、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により個人消費が減少し、景気の一時的な押し下げ要因となりましたが、政府の経済政策や金融緩和を背景に企業収益の改善による設備投資計画の増加がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

このような環境の下、当社は安定的な収益が確保できる体制作りのため、ローコスト体質を維持しながら、無線通信機能を搭載した小型電子看板を利用して、地域や時間軸に応じた販促を可能とするix-boardやDPS-150、大型機器のレンタルといった機器リース事業と、映像コンテンツやメンテナンス、簡易映像制作ソフトTempoの提供といった運営事業の展開を強化してまいりました。

機器リース事業につきましては、DPS-150が飲食店を中心に堅調に推移したことや、大型LED表示機の長期レンタル提供が増加したこと等により、前年同期と比べ増収増益となりました。

運営事業につきましては、映像コンテンツの継続契約件数や発生したメンテナンス件数が前年同期と同様、安定して推移したため、売上につきましても前年同期と同水準となりました。

情報機器事業につきましては、一部の案件が第2四半期以降に検収がずれたこと等から前年同期と比べ減収となりました。

なお、当第1四半期累計期間より、事業内容を明確に表示するため、従来の「アセット事業」から「機器リース事業」へと名称を変更するとともに、事業の表記順を変更致しました。この結果、事業区分は従来の「情報機器事業」「運営事業」「アセット事業」から、「機器リース事業」「運営事業」「情報機器事業」に変更しております。

以上の結果、売上高145,901千円（前年同四半期比21,072千円減）となり、営業損失30,894千円（前年同四半期は営業損失42,239千円）、経常損失33,406千円（前年同四半期は経常損失43,965千円）、四半期純損失は33,643千円（前年同四半期は四半期純損失44,202千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末比50,827千円減の1,116,608千円となりました。その主な要因は、借入金の返済と仕入債務の支払い等により現金及び預金が減少したことによるものです。なお、有価証券は安全性・流動性の高いFFFであります。

固定資産は、前事業年度末比9,148千円減の223,638千円となりました。その主な要因は、工具、器具及び備品、レンタル資産、リース資産が減価償却により減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比26,332千円減の928,684千円となりました。その主な要因は、仕入債務の増加15,804千円があったものの、借入金の返済37,764千円を行ったことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比33,643千円減の411,562千円となりました。その要因は、四半期純損失の計上によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社の情報機器事業は、大型案件の納期が年度末に集中することから、売上高が第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	691,776	270,898
受取手形及び売掛金	106,246	123,135
有価証券	-	300,000
商品及び製品	264,100	345,001
仕掛品	108	479
原材料及び貯蔵品	85,115	66,253
前払費用	8,148	9,315
その他	12,592	2,160
貸倒引当金	651	637
流動資産合計	1,167,435	1,116,608
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	463	938
車両運搬具(純額)	219	192
工具、器具及び備品(純額)	51,019	48,120
レンタル資産(純額)	80,315	79,340
リース資産(純額)	51,128	47,073
有形固定資産合計	183,146	175,666
無形固定資産		
投資その他の資産		
その他	31,625	31,031
貸倒引当金	906	699
投資その他の資産合計	30,718	30,332
固定資産合計	232,787	223,638
資産合計	1,400,223	1,340,246
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,720	131,525
1年内返済予定の長期借入金	151,056	151,056
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	950	489
製品保証引当金	234	134
その他	40,291	38,613
流動負債合計	368,251	381,818
固定負債		
社債	210,000	210,000
長期借入金	332,416	294,652
その他	44,349	42,214
固定負債合計	586,765	546,866
負債合計	955,017	928,684

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,481	479,481
利益剰余金	34,275	67,919
株主資本合計	445,205	411,562
純資産合計	445,205	411,562
負債純資産合計	1,400,223	1,340,246



( 2 ) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	166,974	145,901
売上原価	74,194	57,118
売上総利益	92,779	88,782
販売費及び一般管理費	135,019	119,677
営業損失( )	42,239	30,894
営業外収益		
受取利息	-	10
受取賃貸料	106	105
受取手数料	17	32
還付加算金	-	57
その他	100	27
営業外収益合計	223	232
営業外費用		
支払利息	991	1,913
社債利息	872	393
その他	84	436
営業外費用合計	1,948	2,743
経常損失( )	43,965	33,406
税引前四半期純損失( )	43,965	33,406
法人税、住民税及び事業税	237	237
法人税等合計	237	237
四半期純損失( )	44,202	33,643

( 3 ) 四半期財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( セグメント情報等 )

当社は電子広告看板の製造、販売、運営及びアフターサービスを主な事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。